

オールジャパンに出場される選手のみなさんへ

7月30日に大阪で開催される今年度のオールジャパンメンズフィジーク・フィットネス選手権大会が、全国より230名を超す選手の参加で、盛大に開催されることになりました。

今年も個人登録選手の参加が多く、出場選手の数が多くなりましたが、今大会で、今年の世界選手権や来年度のアーノルドクラシック、アジア選手権等に派遣する選手を選考することになります。

JBBFでは、今年度も多数のドーピング検査の実施を予定しておりますが、今年は陽性者0を目標に掲げ、昨年・一昨年の汚名を晴らすために、連盟関係者が一丸となって努力しなければなりません。ドーピング検査において万が一陽性となり失格した場合は、本人にとっても、当連盟にとっても考えられないほどの損害が生じます。

これまで、アンチドーピング講習会を受けてドーピングについて理解しているはずの選手から陽性者が出ております。自分は大丈夫だと思っていたようですが、陽性と云う結果が出た以上言い逃れは出来ません。大会出場に当たっては、ドーピングに関するルールを十分理解の上出場申し込みをしてください。もし、不安がある場合や陽性になるかも知れないと云う可能性がある方は、速やかにJBBF事務局に相談してください。状況次第では、本人の判断で出場を辞退していただくことが賢明な選択となります。

陽性となった場合の罰金、罰則

- 1、連盟のホームページに数年間は氏名が公表されます。
したがって、トレーナーであれば仕事が出来なくなる可能性があります。
- 2、検出された物質により、2年から4年間は大会参加が出来ません。
- 3、同じジムでのトレーニングが同様の期間できません。(出入り禁止となります)
- 4、規程により下記の罰金が科せられます。
本人には1回目の違反の場合**40万円**。2回目は**80万円**。
本人が支払わない場合は、保証人に支払義務が発生します。
- 5、所属クラブ、所属連盟にも罰金が科せられます。

2020年には56年ぶりに東京で、オリンピック・パラリンピックが開催されますが、ボディビル、フィットネスを愛する人たちにとっても憧れの舞台です。オリンピック参加を夢見てアジア大会には他の競技とともに2回出場しましたが、ドーピング検査で陽性者が出たことで、アジア大会への参加も出来なくなりました。これ以上陽性者を出すことは絶対に避けなければなりません。

他のJBBF大会出場者にも再度の確認をお願いします。あなたが使用しているサプリメントや治療のための薬品に、禁止物質が含まれていないかどうかと云うことです。トレーニングと適正なる食事また、安全なサプリメントで大会に臨み、ボディビル大会が真にクリーンな競技であることを証明できるのは、大会に出場する選手なのです。

2017年7月11日

公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟
選手強化委員会委員長 朝 生 照 雄